

自然観察さんぽのおすすめ（ツユクサ）

ツユクサは皆さんご存じでしょうか？

きっとどなたも見たことがある日本の野草です。

自然の花の色と言えば黄色や白が多いですが、青い花はあまり多くないですね。



この青は布にこすりつけると色が付きますが、水できれいに落とすことができるので、染め物の下書きに使われています。

また万葉集にも詠まれており、古くから利用されていたようです。

この花は日の出とともに咲き、昼にはしぼんでしまうと、本にありました。朝のお散歩で花を見つけたらじっくり観察してみましよう。丈夫で沢山咲きますので、花をもらい手に取って分解しながら調べてみましよう。

二つ折りのクレープみたいな緑の苞葉のあいだから、顔をのぞかせて咲きます。ちょっと失礼して、二つ折りの苞葉（ほうよう）を開いてみてみましよう。中には何がありましたか？大切なところは包んでおくということでしょうか。



咲いている花をじっくり見て、

花びら、雄しべ、雌しべ、が分かりますか？

ツユクサには雌しべと雄しべのある両性花と、雌しべが無く雄しべだけの雄花の両方があるようです。

・・・観察してクイズに挑戦しましょう・・・

クイズ1

一般に、進化の進んだ花では花びらの数が決まっているものが多いようです。例えばイチゴ、サクラは5枚。菜の花は4枚など。さて、ツユクサの花びらの数は何枚？

クイズ2

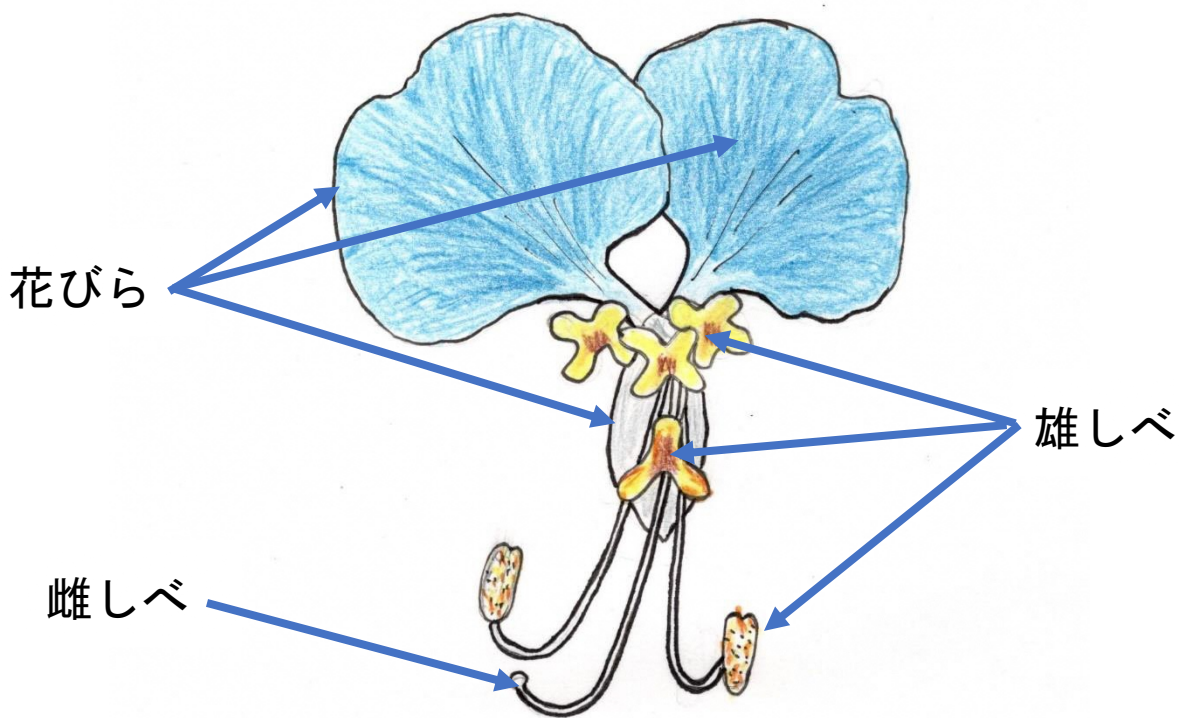
雄しべは何本？ どれが雄しべでしょう？

小さな花ですが、じっくり見ると結構複雑・・・

クイズ1の答え

写真がヘタなので、絵で説明してみます。

青い花びらは2枚ですが、小さくて白い花びらが下側にあり、花びらの数は3です。見つけられましたか？



クイズ2の答え

この花には3種類の雄しべがあります。

- ①花の中央に3本並んでよく目立つX字型の雄しべ
- ②それよりも少し突き出した黄色い逆Y字型の雄しべが1本
- ③さらに長く突き出した、目立たないO字型の雄しべが2本

小さな花ですが、とてもこだわった作りをしているのに気づけません。「自然界の形には意味がある」と言いますから、この形にはきっと意味があるはず・・・

この花は蜜を出しません、花粉を食べに小さなハナアブやハナバチたちがやってきます。その虫たちの体に花粉を付けて、花粉を運んでもらおうという作戦のようです。

調べてみると・・・

X字型の雄しべはとてもよく目立ちますが、ほんの少しの偽花粉を出しているだけだそうです。一方0字型の雄しべは目立ちませんが、正常な花粉がたっぷりあり、やってくる虫たちの足場にもなるようです。中間にあるY字型の花粉は正常な花粉を少しだけ出すとのこと。

「ほら、黄色い花粉がいっぱいありますよ、来てください！」とX字型雄しべの看板を掲げながら、「食べるのは少しだけにして、体にいっぱい花粉を付けて帰ってね」というツクサの本音が聞こえてきた気がしました。

